

オアシスの社外取締役候補者の
独立性についての強い疑念

FREE FUJITEC

オアシスの社外取締役候補者のオアシスからの独立性についての強い疑念

- ◆ 外部調査を通じて、今般、以下の事情が明らかになり、オアシスによる、取締役会を通じたフジテック支配が非常に計画的に行われていた可能性が一層高まりましたのでお知らせいたします。
- ◆ オアシスは Protect Fujitec のプレゼンテーションの中で、フジテックの社外取締役候補者を「エグゼクティブサーチ会社」を採用し、指名していると主張しています。また、候補者のインタビューでは、候補者はオアシスおよびセス・フィッシャーとは面識がなく、独立した、エグゼクティブサーチ会社に選定された、と発言しています（議事録が存在しています）。しかしながら、実際にはオアシスのファンドがフジテックの株式を大量保有する以前からフィッシャー氏は候補者と面識があったという情報が入りました。
 - ◆ セス・フィッシャーと社外取締役候補のグラニンジャーは少なくとも、2009年からの10年を超える付き合いであるとの情報が得られており、オアシスからの独立性を欠くことは明らかです。
 - ◆ 社外取締役候補その他3名（ゲスナー氏、海野氏、嶋田氏）は、ヘッドハンターではなく、オアシスにプライムブローカレッジサービス（ヘッジファンド向け総合サービス）を提供するゴールドマンサックスからの紹介で、2022年1月ごろ（臨時総会の1年以上前）から、フジテックに送り込む取締役候補として関係が存在していたとする情報が得られています。

皆様の議決権行使のご判断にもご参考とさせていただければ幸甚です

オアシスの今までの主張

OASIS

オアシスは、エグゼクティブサーチ会社の協力のもと、5か月以上にわたる大規模な指名プロセスを経て、7名の社外取締役候補者を選任したと説明。

候補者のインタビューでは、候補者はオアシス及び、セス・フィッシャーとは面識がなく、独立した、エグゼクティブサーチ会社に選定された、と発言。

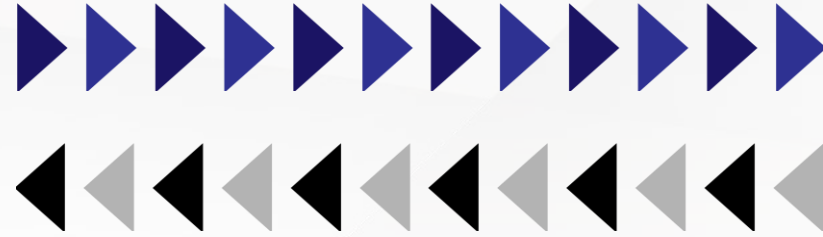


外部調査を通じて、遅くとも2022年1月時点で、既に、オアシスおよびセスフィッシャーと全取締役候補者との間に一定の関係性があったことが浮上しました。また、紹介者は、サーチファームではなく、オアシスのプライムブローカーであるゴールドマンサックスであったことが判明しました。これらの事情から、オアシスによるフジテック支配が計画的に行われていた可能性が一層高まりました。

独立性の欠如

OASIS

オアシスはゴールドマンにフィーを支払い



Goldman
Sachs

ゴールドマンはプライムブローカレッジサービス
(ヘッジファンド向け総合サービス) を提供

ゴールドマンは、オアシスに候補者を『紹介』



オアシス、ゴールドマンサックス（GS）、社外取締役候補の関係

OASIS

フジテックの保有株券の総数のうち、2,856,000株はGoldman Sachs Internationalとの令和4年4月1日付消費貸借により借り入れた。	https://disclosure2dl.edinet-fsa.go.jp/searchdocument/pdf/S100PPZ4.pdf?sv=2020-08-04&st=2023-06-13T01%3A05%3A25Z&se=2027-11-30T15%3A00%3A00Z&sr=b&sp=rl&sig=kG%2BUDYqCH70IG6I%2BuaR1W59zU0%2FJ%2FI7WPKBP8%2BFEfSw%3D
オアシスが出資するレーサム社の取締役に推薦されたのは、GS出身のオアシス日本支社代表 と、GS出身のオアシス日本支社社員の2名	https://www.raysum.co.jp/wp/wp-content/uploads/2022/11/20221111_02.pdf
紫垣拓也氏、ゴールドマン・サックス証券で5年間投資銀行業務などに従事後、2017年にオアシスに入社	https://www.bloomberg.co.jp/news/articles/2019-03-06/PNVXJK6TTDS001
ツルハホールディングスの保有株券の総数のうち、2,856,000株はGoldman Sachs Internationalとの令和4年4月1日付消費貸借により借り入れた。	https://toushi.kankei.me/d/S1000396
ゴールドマンサックスで日本株のポートフォリオマネージャーを務めた伊藤氏、OasisのFischer氏と協業した過去	https://note.com/junichiito110/n/n28a3acd74229
オアシス・マネジメントの前身、DKR Oasisから独立したBarun AgarwalがGoldman Sachsにプライムブローカー業務を委託	https://jp.reuters.com/article/agarwal-hedgefund/corrected-update-1-ex-dkr-oasis-agarwal-plans-jan-asia-hedge-fund-launch-idUKL4E7MU1CY20111130
Oasisの日本代表はゴールドマンサックス出身	

オアシス、ゴールドマンサックス、社外取締役候補の関係



クラーク・
グラニンジャー

情報

01

1997年頃よりグラニンジャー氏とフィッシャーとの間に面識があった。また、共通の友人がGSに複数おり、2019年頃より親しい関係になり、頻繁に連絡を取り合う関係になった。共通の知り合いが多かった。

情報

02

2009年頃、グラニンジャー氏が新生銀行在籍時に、同人とOasis Managementとの接点があったとされる。



トーステン・
ゲスナー

情報

01

2022年1月頃、オアシスよりゴールドマンサックスに、エレベータ業界にキャリアのある人物を紹介してもらえないかという話があった。その後、ゴールドマンサックスからゲスナー氏へ連絡し、オアシスに紹介した。

情報

02

独立したヘッドハンターは使っていないと、本人が話していたとされる。

オアシス、ゴールドマンサックス、社外取締役候補の関係



海野 薫

情報

01

2022年3月頃、ゴールドマンサックス証券の関係者が海野氏をOasis Managementに紹介した。ゴールドマンサックス米国法人の役員ルートで、日本のゴールドマンサックス証券の人間が動いた結果、Oasis Managementと接点が出来た。ゴールドマンサックス証券による動きにより、紹介が成立した。



嶋田 亜子

情報

01

2022年3月頃、ゴールドマンサックス証券の関係者が嶋田氏をOasis Managementに紹介した。

注意事項

- 本プレゼンテーション資料の情報と意見は、株式会社ウチヤマ・インターナショナル（以下、「UI」という。）が、委任状勧誘のための情報提供又は参考目的でのみ提供するものであり、財務、法律、税務、投資、会計、監査等の専門家の助言として解釈されるべきものではありません。
- 本プレゼンテーション資料の情報と意見は、機密事項に関わる内容を含んでおり、UIが意図した受領者に対してのみ提供されるものです。従って、UIの書面による明示的な同意なしにいかなる形式でも、一部又は全部かを問わず転送又は再頒布することを禁止致します。
- 本プレゼンテーションには、将来の見通しに関する情報、とりわけ、予測等が含まれる場合があります。本プレゼンテーションに記載されている将来の見通しに関する情報その他の予測等が実現する保証はありません。
- 本プレゼンテーションに記載した情報は、UIがその裁量によって信頼しうると判断したものに依拠しています。但し、UIは、本プレゼンテーションに記載された情報の正確性、完全性、信頼性について、明示的にも黙示的にも、一切表明又は保証するものではありません。
- UIは、本プレゼンテーションに記載された一切の情報又はその内容の全部又は一部に関して、その利用又はそれへの依拠によって生じたいかなる者の損失についても、又は他の形で生じたいかなる損失についても、一切の責任又は債務を明示的に否定します。
- UIは、本プレゼンテーション資料に記載された情報又は意見について、その改定又は追加情報を提供する、又は誤りを修正する義務を一切負いません。
- 本プレゼンテーション資料は、受領者に対して、UIと共同して特定の会社の株券その他の金融商品取引法における大量保有の状況等に関する開示制度の対象となる有価証券を取得し、若しくは譲渡し、又は議決権その他の権利を行使することを勧誘あるいは要請するものではありません。